

KENKO

REPORT

vol.25

ケンコーレポート

第68期 中間期 2024年4月1日～2024年9月30日

 Paralym Art®

ケンコーマヨネーズはパラリンアートを応援しています

パラリンアートとは

障がい者アーティストの経済的な自立を目的とし、
彼らのビジネス支援を行う活動です。

作品名「フルーツランド」 工房はんど あんず氏/作



トップインタビュー

中長期経営計画のPhase1「事業構造の改革」を目指し 4つの戦略を実行・推進していきます。

代表取締役社長

島本 国一

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

中長期経営計画『KENKO Vision 2035』で描いた、未来のケンコーマヨネーズにつながる施策を着実に進めていきます。

上期の業績について

2025年3月期中間会計期間（2024年4月から9月）は、飲食や旅行などのサービス消費やインバウンド需要が本格的に回復し、当社グループの業績を後押ししてくれました。また、高値圏で推移していた鶏卵価格も落ち着きはじめ、コンビニエンスストアを中心にタマゴ加工品の売上も回復したことで、ようやく業績拡大に向けた事業環境が整いました。

売上高は、外食分野の需要が回復したことや、昨年度は高病原性鳥インフルエンザ感染拡大によるタマゴ加工品の一部休売、供給制限がありましたが、今期は供給体制の回復が進み、増収となりました。利益面では、タマゴ加工品の回復による生産効率改善や価格改定の結果、増益となりました。

セグメント別では、当社本体の事業である調味料・加工食品事業が増収増益となりました。商材別の主な要因としては、サラダ・総菜類では、昨年タマゴ加工品の代わりに販売を強化したポテトサラダの減少はありつつも、小容量サラダは伸長しました。タマゴ加工品はタマゴサラダが好調に推移したことで売上高は回復し、マヨネーズ・ドレッシング類は量販店及び外食向けのマヨネーズの売上が増加したことにより、増収となりました。連結子会社である総菜関連事業等では、新たなメニュー提案などのてこ入れ策を積極的に行ったことで、こちらも増収増益を確保しました。

通期目標達成に向けて、2024年10月・11月に東京と大阪にて当社グループの展示会「ケンコーマヨネーズグループ総合フェア」を開催しました。これまでお取引がなかった先も含めた多くのお客様に、主要商品のラインナップをご覧いただき、業態別に新しいメニューのご提案も行いました。また、サラダ料理に関するコーナーを設置し、動画とパネルをつかって、当社グループのビジョン「サラダ料理で世界一になる」をご説明させていただきました。

中長期経営計画の進捗状況

2024年4月からスタートした中長期経営計画『KENKO Vision 2035』では、持続的な成長のための抜本的改革と企業価値の更なる向上を目指しています。基本戦略として「成長戦略」、「スマート化」、「人材投資」、「サステナビリティと社会的責任」の4つを掲げました。また5つのマテリアリティ（重要課題）として「地球環境への配慮」、「食の安全・安心・安定の追求」、「ガバナンスの強化」、「人権と多様性を尊重した人材育成」、「ライフスタイルの変化への貢献」を特定し、持続可能な社会の実現に向けて取組みを推進しております。

『KENKO Vision 2035』の初年度は、Phase1（2024～2027年度）の「事業構造の改革」に向けて現状確認と改革に向けての方向性を定めています。2025年3月期中間会計期間では、「成長戦略」は商品統廃合を計画し、「スマート化」は事業拠点再編の検討、「人材投資」は従業員エンゲージメント向上を目指し、まずは従業員への意識調査の実施と目標の設定等、各施策についての着手を始めました。

商品統廃合では、200品以上の商品を整理し、既存ナショナルブランド（NB）商品の生産効率改善を計画しました。この計画を実行することにより、グループ各工場の生産合理化と集約化、労働生産性の向上を目指しています。生産と販売に関わるメンバーに加えて経営企画のメンバーも加えたミーティングを行い、グループ全体で最適な製造ラインを目指すとともに、エネルギーコストを考慮し、CO₂排出量削減などの環境にも配慮した事業拠点の再編に向けて検討を進めています。

また、既存事業はもちろん、新たな事業の柱とするために、当社の通販サイトのテコ入れを実施する計画を立てています。個人事業などを含むスモールビジネス向けの商品ラインナップを拡大し、通販に特化したサイトの構築にも着手しました。また海外展開では、輸出売上拡大に

トップインタビュー



向け『SESAME Mayo Sauce』と『CHILI Mayo Sauce』の北米展開をスタートさせました。

一方、事業活動の基盤強化としては、基幹システムの更新やAIの導入、RPAを活用し、各部署の業務の効率化による利益率の向上を目指しています。効率化に加え、会社ビジョンへの共感を深め、自発的に貢献意欲がわくよう、1on1のミーティングや取締役と従業員による意見交換会を行い、インナーブランディングの強化に努めました。意見交換会では様々な意見が寄せられ、更なる取組みの必要性を再認識しました。そして、キャリアプランを実現するために、従業員への外部研修も実施しました。

さらに、「サステナビリティと社会的責任」では、サーキュラーエコノミーの取組みとして、本来であれば食べられるのに廃棄されてしまうキャベツの芯や元茎わかめを活用したアップサイクル商品の充実が評価され、「第54回 食品産業技術功労賞

(サステナビリティ部門)」を受賞しました。

IR活動の強化では、「ケンコーマヨネーズグループ総合フェア」に株主様をご招待し「株主様見学会」を行いました。普段目にすることが少ない当社の業務用の商品をご試食していただきました。当社グループの成長戦略や強みと魅力を存分に感じていただけたのではないかと思います。

株主の皆様へ

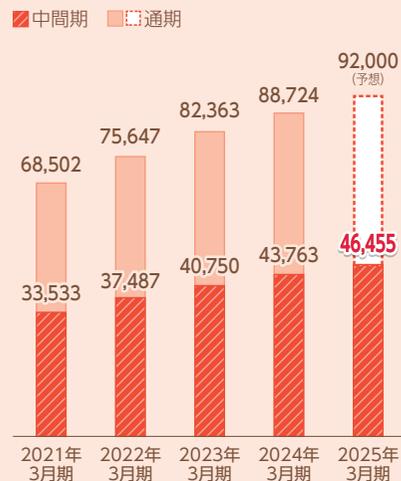
当社グループは、企業価値の向上を目指すとともに、株主の皆様へ安定的な配当を維持・継続するために、株主資本配当率（DOE）を指標として、2035年度にはDOE2.5%以上の水準を目指すことを基本方針としております。2025年3月期の配当金は、中間期末配当19円、期末配当19円の合計38円を予定しています。

中長期経営計画『KENKO Vision 2035』の4つの戦略を着実に実行し、全てのステークホルダーに信用・信頼される会社、「サラダ料理で世界一になる」を体現した価値ある商品やサービスをお届けする企業グループを目指して取り組んでまいります。

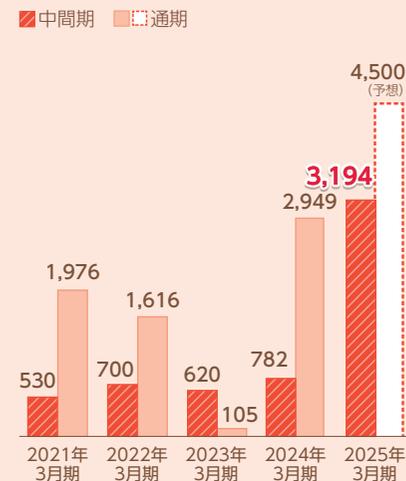
株主の皆様には、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

連結財務ハイライト (単位:百万円)

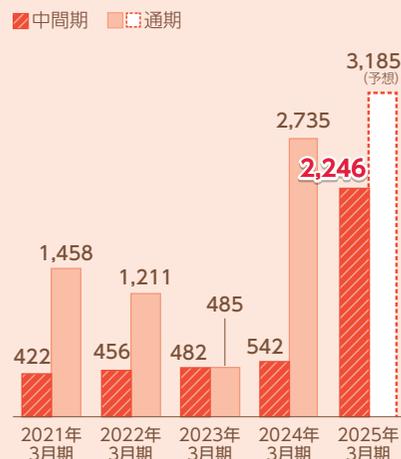
売上高



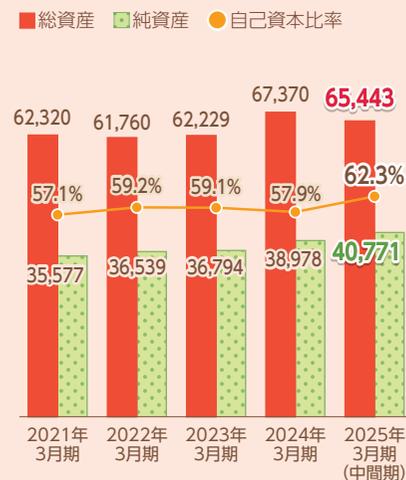
営業利益



親会社株主に帰属する当期(中間期)純利益



総資産・純資産 / 自己資本比率



中長期経営計画『KENKO Vision 2035』進捗報告

KENKO Vision 2035

～持続的な成長のために抜本的改革と企業価値の更なる向上を目指す～

2024年4月から、新たに中長期経営計画『KENKO Vision 2035』がスタートしました。当経営計画は、再構築した理念体系に基づき4つの戦略を実行し、新たに特定したマテリアリティに取り組み、2035年度の目標達成を目指すものとなります。

『KENKO Vision 2035』は、4年間を一つのフェーズとして3段階に分けて改革を進めてまいります。また、4つの基本戦略の実行と経営基盤を強化し、持続的な成長のための抜本的な改革と、企業価値の更なる向上を目指してまいります。

中長期経営計画『KENKO Vision 2035』（12年計画）

Phase1
2024-2027

事業構造の改革

新たな理念体系のもと、事業ポートフォリオの変革と新たな技術への挑戦

Phase2
2028-2031

再成長

新技術の展開、事業構造の変化を加速させ組織再編を図る

Phase3
2032-2035

進化・発展

新たなビジネスモデルのもと、収益基盤の強化を目指すとともに社会課題の解決の実践

2035年度の未来
KENKO Vision 2035

ビジョン
(目指すべきもの)
『サラダ料理で
世界一になる』

KENKO Vision 2035 基本戦略 (1)



成長戦略 -Growth Strategy-

重要KPI
Phase1
(2027年度)

●NB商品比率の上昇

目標 NB商品比率
50%

●海外売上高比率の上昇

目標 海外売上高
17億円

●EC事業の拡大

目標 EC売上高
2億円

商品の統廃合では、生産効率向上による利益率の向上を目指し、商品の整理やNB商品の改善、価格の見直し等をおこなっています。効果額として2025年度に6億円を計画しております。

商品・メニュー開発では、顧客の要望に応える機動力の向上に向けて取り組んでいます。商品化決定基準の見直し、分野別戦略と連携した商品開発により、マーケットインの発想で商品開発に努めてまいります。

また海外展開については、進出エリアや進出方法について検討を進めています。海外売上高比率上昇に向けては、輸出売上を拡大するために、マヨネーズ・ソース類を北米に展開し、輸出EXPOへの出展を行っています。

EC事業の拡大では、物流委託会社の選定、EC向け商品の開発等を行い、EC専用サイトの構築を進めています。

さらに、ブランディングの強化としてメディアや展示会を通じて当社の商品力やメニュー提案力を一般の方にも認知いただけるような取り組みも強化しています。



『おいしい博覧会 2024夏』出展

KENKO Vision 2035 基本戦略 (2)



スマート化 -Automation and Innovation-

重要KPI
Phase1
(2027年度)

●労働生産性

目標 10%UP

バックオフィス

労働生産性の向上
(既存業務の効率化による
新規業務へのシフト)

販売

人時生産性の向上
(時間当たりの売上高)

生産

工場の労働生産性向上
(時間当たりの生産量)

DXの推進として、バックオフィスにおける業務の効率化を図るため、AIの導入やRPAの活用、既存業務フローやシステムの可視化を進めています。

販売関連では、データ活用による利益率の向上を目指し、基幹システムの入替の実施や、営業支援ツールの導入を検討しています。

生産関連では、協働ロボットの導入や、人材育成手法の向上を目指しマニュアル動画の導入を進めています。

事業拠点の再編では、工場の再編や統合について具体的な計画を検討しており、今後実行していく予定です。



KENKO Vision 2035 基本戦略 (3)



人材投資 -Investment in People-

重要KPI
Phase1
(2027年度)

●エンゲージメント総合スコア

目標 70pt (2024年度57.6pt)

自発的
貢献意欲

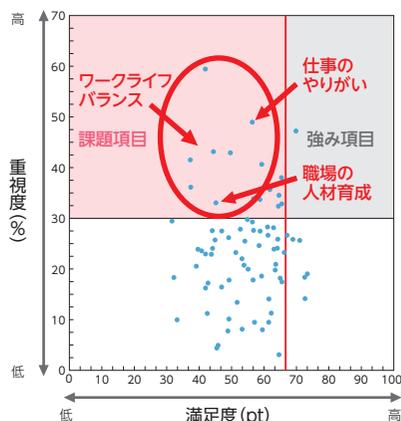
組織への
愛着

会社ビジョン
への共感

従業員エンゲージメントの向上に向けた意識調査の実施を行い、重視度が高く、満足度の低い項目を中心に改善を進めていきます。

従業員のキャリアプランを実現するための研修を実施し、外部研修を上期に15講座行い、今期合計では27講座を実施予定です。また、働きやすい職場の実現のため、より一層の充実を図っていきます。

当社の理念やビジョン・活動等の共有や共感、浸透を図るため、より強固な組織に向けた変革を目指し、取締役と従業員の意見交換会や社内報の発行など、インナーブランディングも強化してまいります。



KENKO Vision 2035 基本戦略 (4)



サステナビリティと社会的責任

-Natural resource sustainability, Social responsibility-

重要KPI
Phase1
(2027年度)

●CO₂排出量の削減

目標 ▲25.4%
(2019年度比 原単位)

●モーダルシフト導入

2019年度比
目標 モーダルシフト 10%に
(2026年度目標)

●廃棄物削減

目標 ▲14.1%
(2019年度比 原単位)

CO₂排出量の削減では、エネルギーの可視化のため、エネルギー使用量の見える化やエネルギーの有効活用に取り組んでいます。御殿場工場ではバントコンデンサーを導入し、年間約73tのCO₂削減効果となりました。

モーダルシフトの導入では、環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用への転換を進め、現在利用しているエリアから拡大できるように、対象ルートの選定と効果検証を実施しています。

廃棄物削減では、サーキュラーエコノミーの実現のため、自社での段ボール循環型リサイクルの取り組みやアップサイクル素材を使用した商品の開発に取り組んでいます。



経営目標

『KENKO Vision 2035』の4つの基本戦略を大きな軸として事業を推進し、2035年度に連結売上高1,250億円以上、連結営業利益75億円以上、連結営業利益率6%以上などを目標に進めてまいります。

当社グループの成長に向けた新たなビジョンをもとに、今後の当社グループの変革と成長、そして企業価値の更なる向上を目指し、ステークホルダーの皆様へ信用・信頼され必要とされる企業であり続けられるよう邁進してまいります。

財務指標 [2035年度目標]

連結売上高	連結営業利益	連結営業利益率	ROE	海外売上高比率
1,250億円以上	75億円以上	6%以上	8%以上	10%以上

株主還元

DOE (株主資本配当率)	Phase1 2024-2027	Phase2 2028-2031	Phase3 2032-2035
	1.5%以上 (水準)	2.0%以上 (水準)	2.5%以上 (水準)

KENKO NOW

『塩キャラメルバターソース』 業務用加工食品ヒット賞受賞



『塩キャラメルバターソース』がこのたび株式会社日本食糧新聞社主催「第28回業務用加工食品ヒット賞」を受賞しました。『塩キャラメルバターソース』は「バターソース」シリーズの第4弾として2024年2月に発売。芳醇なバターとほろ苦いキャラメル、まろやかな味わいの岩塩によるコクと風味がやみつきになるソースです。汎用性が高く、デザート・菓子系メニューから総菜まで幅広く活用できる点が評価されました。

今後も『塩キャラメルバターソース』をはじめ「バターソース」シリーズの提案を強化し、商品の魅力をお届けしてまいります。



2024年秋冬向け新商品9品 7月に発売

2024年秋冬向け新商品として、サラダ・総菜類、和惣菜、マヨネーズ類、ソース類の計9品を7月1日に発売しました。

食を取り巻く環境は、消費者の嗜好やライフスタイルの多様化によって大きく変化し、健康志向の高まりや、地球環境への配慮からサステナブルな食スタイルへの注目が集まっています。そのような背景を踏まえて、機能性を持つ商品、SDGsを意識したサステナブルな商品、グルメトレンドを多く生み出す韓国で話題のメニューを手軽に楽しめる商品など、多様なニーズに応える商品を発売しました。



商品詳細はこちら

www.kenkomayo.com/pro/r/r51/

【ダイエットクックサプライ】 食品ロスの削減にも貢献！ 規格外のミニトマトを使った 調味料を新発売



株式会社ダイエットクックサプライ（ケンコーマヨネーズ100%子会社）は、岡山県笠岡市産の高糖度のフルーツミニトマトを使用した調味料『tomato&miso（トマトアンドミソ）』、『red&chili（レッドアンドチリ）』の2品を発売しました。本商品は、岡山県笠岡市内で野菜を販売する井笠コネクト株式会社とタッグを組んで開発。どちらも大きさや形などで規格外となるトマトを使用しています。

『tomato&miso』はフルーツミニトマトに広島県府中市の「府中味噌」を合わせ、じっくり煮詰めて酸味を飛ばして甘味と旨味を引き出しました。『red&chili』は福山市産のチャベセタンという激辛唐辛子とフルーツミニトマトを組み合わせ、後を引く辛さがやみつきになる味わいに仕上げています。

この調味料は、広島県福山市内のレストランやイベント等で販売しています。



ポテトサラダ アレンジメニューのご紹介

『サラダのプロがつくったポテトサラダ』『サラダのプロがつくったお酒によく合うポテトサラダ』は9月にテレビの情報番組にて紹介され、人気急上昇中の商品です。

食のプロに長年愛されてきた美味しさを、ご家庭でも簡単にお召し上がりいただける小容量の商品です。

食パンにのせてボリュームたっぷりなサンドにしたり、オリーブを混ぜたりして簡単アレンジ！ひと手間加えたアレンジメニューで、新たなポテトサラダをお楽しみください！



野菜ポテトサラダと生ハムのオープンサンド

濃厚おつまみポテトサラダ

おすすめレシピ

www.kenkomayo.com/pro/g/grecipe32297-012/

www.kenkomayo.com/pro/g/grecipe32298-001/



「統合報告書2024」を発行

9月に「統合報告書2024」を発行しました。「統合報告書2024」では、当社グループの企業価値向上のための取組み、ビジネスモデルや価値創造のための戦略などを掲載。トップメッセージや創業以来の価値創造の軌跡、新たに特定した5つのマテリアリティの内容と、主な取組み等を財務・非財務の両面からご説明しています。

当報告書の発行にあたり、2つの座談会を実施。取締役と従業員の座談会では、中長期経営計画の戦略の一つである「人材投資」について、当社グループの人材育成に対する考え方や制度などをお伝えしています。代表取締役社長の島本と社外取締役の3名は、コーポレート・ガバナンスや中長期経営計画に対する思いなどを語りました。



統合報告書はこちら

www.kenkomayo.co.jp/ir/irshiryoku/integratedreport

【キッチンスペース831】 8月24日「ドレッシングの日」にレッスン開催

当社で運営する一般のお客様向け料理教室「キッチンスペース831」にて、昨年に続き8月24日の「ドレッシングの日」に合わせてドレッシングや野菜の魅力をお届けするレッスンを開催しました。今回はレッスンに加えて特別イベントとして、様々なドレッシングやソースを使った“野菜がメイン”の料理をバイキング形式でご用意。その他にも当社のドレッシングを食べ比べるサラダバーなど、ドレッシングの新たな使い方や魅力をご紹介します。



詳細はこちら

www.kenkomayo.com/pro/pages/feature_831.aspx

8月24日の「ドレッシングの日」は、当社が制定した記念日です。



ドレッシングは野菜にかけて使用することが多いことから、831(やさい)にかける(かけ算をする)→ $8 \times 3 \times 1 = 24$ で24日さらにカレンダー上で「野菜の日(8月31日)」の真上にあるのが8月24日であることから、野菜にドレッシングをかける様子をイメージして制定に至りました。

「ケンコー馬鈴薯フォーラム2024」を開催

8月2日に当社東京本社の会場とオンラインの両方でじゃがいも/馬鈴薯(ばれいしょ)に関する勉強会「ケンコー馬鈴薯フォーラム2024」を開催しました。北海道産馬鈴薯の消費拡大を目的に、ホクレン農業協同組合連合会は8月4日を「ば(8)れい(0)しょ(4)」と読む語呂合わせから『北海道ばれいしょの日』と制定しています。当社ではポテトサラダをはじめ、馬鈴薯を使用した商品を多数開発・販売しています。原料の馬鈴薯の“安定した生産と品質を確保することが、持続的な成長に重要”という認識のもと、2015年から毎年「ケンコー馬鈴薯フォーラム」を開催。じゃがいも/馬鈴薯に関する勉強会を毎年8月に実施し、今年で10回目を迎えました。



まよにい

勉強会で使用した馬鈴薯4品種とポテトサラダ



東京本社会場の様子



ポテリン

ケンコーマヨネーズグループのサステナビリティ

ケンコーマヨネーズグループは、企業理念として守るべきものを「心身（こころ・からだ・いのち）と環境」、使命を「食を通じて世の中に貢献する。」とし、持続可能な社会の実現を目指しています。

サステナビリティ方針

ケンコーマヨネーズグループは、持続可能な社会の実現に向け「環境」「社会」「健康」への貢献を指標とした「サステナビリティ方針」を定めました。変わりゆく時代のニーズや期待に応え、新たな価値の創造にチャレンジし社会とともに成長してまいります。



マテリアリティ特定背景

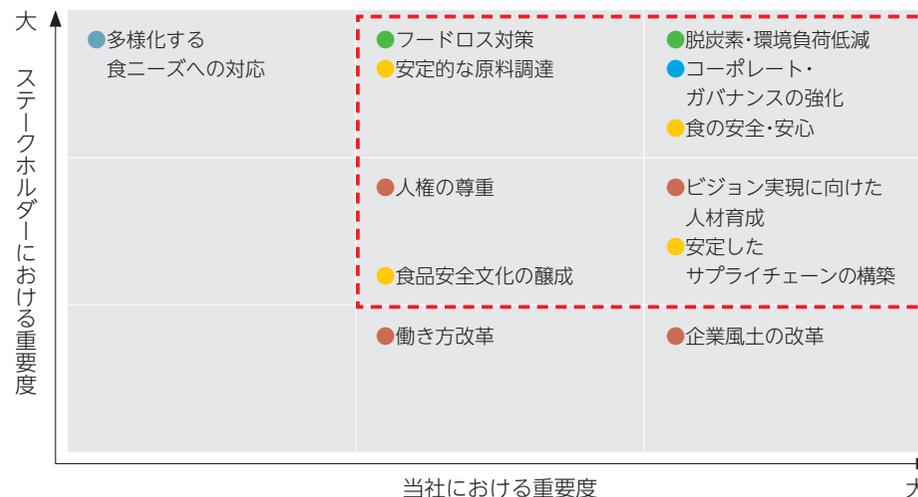
ケンコーマヨネーズグループは、「2035年にありたい姿」を想像し、2024年度から始まる新たな中長期経営計画を策定しました。そして、現在想定される重要課題を抽出し、取り組むべき課題として5つのマテリアリティを特定しました。

当社グループは経営環境の変化を見極めながら、定期的に特定プロセスに沿って、マテリアリティをアップデートしていきます。

5つのマテリアリティ



マテリアリティマップ



マテリアリティに対するKPI

課題	取り組み	数値目標
温室効果ガスの削減	CO ₂ 排出量削減	2030年度目標 -50% 2050年度目標 カーボンニュートラル (2019年度対比 原単位)
	代替フロン	2030年度目標 R22冷媒撤廃 2050年度目標 自然冷媒100%
持続可能な包装資源の活用	環境に配慮したサステナブル素材の使用	2030年度目標 リサイクル素材60% 2050年度目標 リサイクル素材100% (全品目中)
廃棄物の削減	加工ロスの削減	2030年度目標 -15% 2050年度目標 -30% (2019年度対比 原単位)

※目標は、社会環境変化に応じて見直ししてまいります。

○ 自然冷媒機器の導入

冷媒とは、熱を温度の低い所から高い所へ移動させるときに使われる物質です。圧力をかけることで液化・放熱、気化・吸熱を繰り返し、当社の各工場でも商品を保管する冷蔵庫やエアコン等に用いられています。

御殿場工場と西神戸工場では、2022年2月に自然冷媒への機器変更を行い、CO₂の発生を抑制しています。今後、他工場への導入を進めてまいります。



御殿場工場で導入した自然冷媒機器

2023年度 CO ₂ 排出量削減効果	御殿場工場 139t*	西神戸工場 1,437t*
-----------------------------------	----------------	------------------

※単位は「CO₂/年」、機器変更によるCO₂排出量削減効果

○ 個人投資家向け説明会に参加しました

当社は7月20日に「ラジオNIKKEI・プロネクサス共催 企業IR&個人投資家応援イベントin東京」に参加しました。当日、会場には約220名の個人投資家の方々がご来場されました。講演では、代表取締役社長 島本より会社概要、決算概要、中長期経営計画『KENKO Vision 2035』、株主還元についてご説明しました。また、会場内にはブースを設置し、当社商品を展示。実際に商品を見ていただきながら個人投資家の方々とお話しする機会もあり、1kgサイズの商品の大きさや、連結子会社で作っているフレッシュ総菜についてご興味を持っていただけました。

今後も個人投資家の方々に当社を知っていただき、ご興味を持っていただけるよう、当社の魅力を発信してまいります。



「ケンコーマヨネーズグループ総合フェア」株主様見学会

10月・11月に東京、大阪にて「ケンコーマヨネーズグループ総合フェア」株主様見学会を実施しました。多数のご応募をいただき、誠にありがとうございました。株主様見学会は8月に当社ホームページにてご案内させていただき、厳正なる抽選の結果ご当選された40組80名の株主様をご招待いたしました。

実際にフェア会場を見学していただき、提案するメニューの多さや時間短縮に役立つカット済みポテトなどの素材系商品があることに驚いたという声をいただきました。多くの商品、提案メニューをご試食いただき、当社商品の魅力を感じていただける機会になったと存じます。

今後も株主の皆様にご直接当社の魅力をお伝えする機会を設けてまいりますので、ご参加をいただけますと幸いです。



株主優待制度のご案内

料理のプロにご愛用いただいている当社商品をお届けしています。3月31日現在の株主名簿に記載されており、100株以上保有の株主様に、年1回贈呈いたします。

一律

100株以上1,000株未満保有の株主様

当社商品1,000円相当



- ケンコーマヨネーズ レストランの味
- 神戸香番館® コールスロートレッシング
- ジャーマンカレーチャップ

2024年「株主優待」

選択

1,000株以上保有の株主様

当社商品2,500円相当 3種類から1つの選択制



- 1 ●当社商品詰め合わせセット1
- ケンコーマヨネーズ レストランの味
 - 神戸香番館® 玉ねぎドレッシング
 - 神戸香番館® コールスロートレッシング
 - イタリアンパザルソース
 - クリーミー金ごまドレッシング
 - 世界を旅するドレッシング® シルダスタイル®



- 2 ●当社商品詰め合わせセット2
- ケンコーマヨネーズ レストランの味
 - 神戸香番館® 玉ねぎドレッシング
 - 神戸香番館® 粗挽き金ごまドレッシング
 - ガーリックバターソース
 - スパニッシュアヒージョソース
 - ゆず味噌ソース



- 3 ●当社商品詰め合わせセット3
- のせるだけキーマカレー ×2
 - のせるだけタコスミート ×2
 - のせるだけガバオ ×2
 - サラダのプロがつくった ポテトサラダ
 - サラダのプロがつくった ポテトサラダ
 - お酒によく合うポテトサラダ
 - サラダのプロがつくった マカロニサラダ
 - サラダのプロがつくった 金ごまごぼうサラダ

※2024年の株主優待を記載しております。商品の内容は変更される可能性があります。

会社概要 (2024年3月31日現在)

会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社
KENKO Mayonnaise Co., Ltd.
設立年月 1958(昭和33)年3月
本店所在地 兵庫県神戸市灘区都通3丁目3番16号
(東京本社)東京都杉並区高井戸東3丁目
8番13号
資本金 54億2,403万円
従業員数 3,075名(連結)
証券コード 2915(東京証券取引所プライム市場)
ホームページ www.kenkomayo.co.jp

株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 33,500,000株
発行済株式総数 16,476,000株(自己株式 487,122株を含む)
株主数 11,789名

大株主	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,845	11.54
株式会社ティーアンドエー	1,457	9.12
第一生命保険株式会社	757	4.73
鈴与コンストラクションホールディングス株式会社	623	3.90
日本生命保険相互会社	577	3.61
株式会社三井住友銀行	559	3.50
キッコーマン株式会社	491	3.07
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	464	2.90
一般財団法人旗影会	450	2.81
伊藤忠商事株式会社	448	2.80

※持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。

役員一覧 (2024年9月30日現在)

代表取締役会長 炭井 孝志 常勤監査役 村田 隆
代表取締役社長 島本 国一 常勤監査役 京極 敦
取締役 副社長 寺島 洋一 社外監査役 佐藤 清春
取締役 川上 学 社外監査役 山下 彰俊
取締役 立花 健二 社外監査役 福井 久
取締役 奈良岡 弘之
社外取締役 三田 智子
社外取締役 小町 千治
社外取締役 吉江 由美子

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
株主確定基準日 定時株主総会 3月31日
期末剰余金配当 3月31日
中間配当 9月30日

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00
(土日祝日、12/31~1/3を除く)

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に
口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の
口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出くだ
さい。

ケンコーマヨネーズ 公式通販サイト



掲載商品数約400種類
以上! 料理のプロから
一般のお客さままで、
幅広い方にご利用いただいています。
通販サイト限定のお得なセットや、商品活用術、コラムやトレン
ドなど、日常にお役立ていただける情報も盛りだくさんです!

www.kenkomayo.com

新規会員
登録
キャンペーン

新規会員登録された方全員に、すべての商品に使える
500円クーポンをプレゼント!
(商品金額合計3,000円以上のご注文でお使いいただけます。)
ご登録はこちらから
www.kenkomayo.com/pro/pg/1entry/

SNS情報

ケンコーマヨネーズ

X (旧Twitter)
X.com/
kenko_mayo

Instagram
[www.instagram.com/
kenko_mayo](http://www.instagram.com/kenko_mayo)

すぐに活用できる商品情報や気にな
るレシピ、イベントやキャンペーン
の情報、企業活動も随時発信中!

ご家庭で簡単に作れる商品を活用した
おすすめレシピを多数ご紹介!

サラダカフェ

LINE公式アカウント
page.line.me/846fmpyt?openQrModal=true
お友だち登録で初回登録特典のクーポンをプレゼント!



X (旧Twitter)
X.com/
Salad_Cafe_plus

Instagram
[www.instagram.com/
salad.cafe_official](http://www.instagram.com/salad.cafe_official)